



平成 24 年 4 月 25 日

各 位

上場会社名 ニチハ株式会社  
代表者 代表取締役社長 社長執行役員 山中 龍夫  
コード番号 7943 (東証一部・名証一部)  
問合せ先 取締役 常務執行役員 南 光 正  
(TEL 052-220-5116)

### 業績予想及び配当予想の修正並びに特別損失の計上に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、平成 24 年 2 月 3 日の第 3 四半期決算発表時に公表いたしました平成 24 年 3 月期 (自平成 23 年 4 月 1 日 至 平成 24 年 3 月 31 日) 通期の連結・個別業績予想 (以下、「前回発表予想」) 並びに平成 24 年 3 月期の期末配当予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせします。

また、平成 24 年 3 月期の当社個別決算において、下記のとおり特別損失の計上を行うことといたしましたので、併せてお知らせします。

### 記

#### 1. 業績予想の修正について

##### (1) 平成 24 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正

(自平成 23 年 4 月 1 日 至 平成 24 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A) (平成 24 年 2 月 3 日発表)	96,500	6,800	6,600	4,400	119.48
今回修正予想 (B)	95,880	6,900	6,670	4,430	120.31
増減額 (B-A)	△ 620	100	70	30	—
増減率 (%)	△ 0.6	1.5	1.1	0.7	—
(ご参考) 前期実績 (平成 23 年 3 月期)	95,333	5,192	4,897	529	14.38

##### (2) 通期連結業績予想の修正の理由

売上高につきましては、主力の窯業系外装材事業において販売数量が前回発表予想対比未達となることから、前回発表予想を下回る見込であります。

損益につきましては、上記の減収に伴う減益はあるものの、これを工場稼働率のアップや合理化施策に伴う原価低減並びに固定費削減などによりカバーし、営業利益、経常利益、当期純利益はそれぞれ前回発表予想を若干上回る見込であります。

(参考)

(1) 平成 24 年 3 月期通期個別業績予想数値の修正

(自 平成 23 年 4 月 1 日 至 平成 24 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A) (平成 24 年 2 月 3 日発表)	78,100	4,900	4,900	1,100	29.87
今回修正予想 (B)	77,420	4,970	5,080	1,260	34.22
増減額 (B-A)	△ 680	70	180	160	—
増減率 (%)	△ 0.9	1.4	3.7	14.5	—
(ご参考) 前期実績 (平成 23 年 3 月期)	78,605	4,184	4,240	717	19.49

2. 配当予想の修正について

(1) 平成 24 年 3 月期配当予想の修正の内容

	年間配当金		
	第 2 四半期末	期 末	合 計
前回予想 (平成 24 年 2 月 3 日発表)	10 円 00 銭	14 円 00 銭	24 円 00 銭
今回修正予想		15 円 00 銭	25 円 00 銭
当期実績	10 円 00 銭		
前期実績 (平成 23 年 3 月期)	0 円 00 銭	4 円 00 銭	4 円 00 銭

(2) 配当予想の修正の理由

平成 24 年 3 月期の期末配当予想につきましては、平成 24 年 2 月 3 日の第 3 四半期決算発表時では 1 株当たり配当金を 14 円とさせていただいておりましたが、前記の業績予想の修正に関するお知らせのとおり、連結業績における当期純利益が前回発表予想を上回る 44 億 30 百万円となることが見込まれ、従来当社は利益配分の指標として連結配当性向 20%程度を下限として運用していることから、上表のとおり、1 株当たり期末配当金予想を 1 円増配し、15 円に修正させていただきます。

これにより年間配当金は、既に実施済みの中間配当金 10 円と合わせ、合計で 1 株当たり 25 円となる予定であります。

3. 特別損失の計上

個別決算において、当社の米国連結子会社である Nichiha USA, Inc. の株式について、実質価額の下落に伴い、関係会社株式評価損 25 億 45 百万円を特別損失に計上いたします。

なお、当該損失については、通期個別業績の前期発表予想及び今回修正予想に織り込み済みであり、また連結決算においては消去されます。

以上